

【扶桑建設株式会社C S R調達方針】



制定 2021 年 4 月 1 日

改訂 2025 年 4 月 1 日

扶桑建設株式会社C S R 調達方針

扶桑建設株式会社は持続可能な社会の実現に向けて、「扶桑建設株式会社C S R 調達方針」を制定し、当社の役職員がC S R 調達を推進するうえで遵守する事項を「C S R 調達活動基本方針」として、同方針に基づき全ての調達先に実践を求める事項を「C S R 調達ガイドライン」として定めています。

この内容に基づき、調達先との良好なパートナーシップを構築するとともに、「C S R 調達ガイドライン」を調達先だけでなく、全てのサプライチェーンに対しても本ガイドラインの趣旨と内容をご理解いただき浸透を図ってまいります。

C S R 調達活動基本方針

1 法令・社会規範の遵守

事業活動を行う国や地域で適用される全ての関連法令並びに国際条約や社会規範を遵守する。

2 企業倫理の確立

高い倫理観を持ち、公正な競争ルールに基づく事業活動を推進する。

3 人権尊重

人権尊重の精神を基本とし、ジェンダー平等の実現に向けた事業活動を推進する。

4 安全衛生の確保

人命尊重を最優先し、積極的な安全衛生活動を展開して健康且つ快適な職場環境を推進する。

5 環境への配慮

地球環境・生物多様性の保護のためにも持続可能な環境負荷低減の取組を推進する。

6 品質の確保と向上

製品・サービスに求められる品質とその向上を推進する。

7 災害時リスク管理体制の構築

平常時から災害に備え、リスク管理体制を確立して地域社会に貢献する。

8 情報セキュリティの確保

個人情報や機密情報の漏洩防止を徹底する。

9 社会貢献

地域の歴史・文化・習慣などを尊重した事業活動を心掛け、持続可能な社会の発展に努める。

【CSR 調達ガイドライン】

1 法令・社会規範の遵守

事業活動を行う国や地域で適用される全ての関連法令並びに国際条約や社会規範を遵守する。

- (1) 事業活動を行う国・地域で適用されるすべての関連法令並びに国際条約や社会規範はもとより、契約や約束を尊重し、社会からの要請を理解して企業活動を行う。

2 企業倫理の確立

高い倫理観を持ち、公正な競争ルールに基づく事業活動を推進する。

- (1) 不適切な利益の供与や受領を行わない。
- (2) 取引先・競争相手に対し、優越的地位の濫用や取引妨害等にあたる行為は行わない。
- (3) 公務員等（みなし公務員・外国公務員等も含む）との関係においては、健全な関係を維持し、法令に抵触するような接待・贈答は行わない。
- (4) 暴力団対策法等の趣旨に則り、反社会的勢力との一切の関係を遮断するとともに、これらの勢力・団体からの不当な要求は一切拒絶する。
- (5) 贈収賄・マネーロンダリング・横領・詐欺等あらゆる形態の汚職行為に関与せず、且つ防止に努める。
- (6) 知的財産権を侵害し、又は不正に使用しない事。
- (7) 企業情報の適時かつ適切な開示に努める。
- (8) 自由な競争を阻害する行為や不正な競争行為等を行わず、公正な事業活動を推進する。

4 人権尊重

人権尊重の精神を基本とし、ジェンダー平等の実現に向けた事業活動を推進する。

- (1) 人種・ジェンダー・性的指向・性自認・年齢・国籍・宗教・出身地・障がいや傷病の有無・身体的特徴等を理由としたいかなる差別やハラスメント等、人権を侵害し精神的・身体的苦痛を与える行為や採用制限を行わない。
- (2) 強制労働・外国人労働者の不法就労等の不正な労働は行わない、または行わせない。
- (3) 児童労働の一切を禁じ 15 歳未満の採用を行わない事と 18 歳未満の者に深夜業務・危険有害業務を行わせる事を禁止します。
- (4) 先住民や地域住民の権利を尊重し、法に則った対応・手続きを行う。
- (5) 労働者の権利を尊重し平等な雇用機会の確保、適正な労務管理、最低賃金法順守、同一

労働同一賃金を達成する。

- (6) 男性及び女性の平等な雇用機会を確保し評価や登用も平等に行い健全で働きやすい労働環境の維持・向上に努める。
- (7) 社員の結社の自由と団体交渉権を保障すること。

4 安全衛生の確保

人命尊重を最優先し、積極的な安全衛生活動を展開して健康且つ快適な職場環境を推進する。

- (1) 労働安全衛生に関する法令や規程・基準を遵守し、施工管理と合わせてその運用と展開をはかる。
- (2) お客様や地域の方など関係者に対する安全衛生を徹底する。
- (3) 安全衛生の重要性を全社員並びに協力会社が理解し、安全衛生活動を適切に実施し、且つ安全衛生教育を徹底する。
- (4) 安全衛生活動の継続的な改善により、持続可能な健康で快適な職場環境を確保する。

5 環境への配慮

地球環境・生物多様性の保護のためにも持続可能な環境負荷低減の取組を推進する。

製品・サービスに求められる品質とその向上を推進する。

- (1) お客様や地域社会に対する環境配慮（施工時における騒音・振動の低減・廃棄物の排出削減及び適正処理・有害化学物質の適正管理・水資源の環境保全・森林資源の環境保全等）を徹底する。
- (2) 事業で発生する温室効果ガスの排出量削減に努め地球への環境負荷を低減させ、脱炭素社会の実現に貢献する。
- (3) 責任ある原材料調達を実現するため、スズ・タンタル・タングステン・金・コバルト等の鉱物のうち、児童労働などの人権侵害、環境破壊、非人道的な武力行為等に関わる組織の資金源となっている原材料、絶滅危惧種及びワシントン条約・ラムサール条約等の国際法に触れる材料を使用しない。

6 品質の確保と向上

製品・サービスに求められる品質とその向上を推進する。

- (1) 提供する製品やサービスにおいては、適切な品質管理・品質保証体制を構築し、求められる品質を確保するとともに、常に品質の向上に努めていく。
- (2) お客様の要求・期待に応え、魅力ある安全で高品質の建造物を提供し、記録の偽造、不当表示・改ざん及び隠ぺい等を防止する為の研修等を実施し、お客様のニーズに応える。
- (3) すべての技術者が持続可能な開発を促進するために必要な知識と技術の習得に努める。

7 災害時リスク管理体制の構築

平常時から災害に備え、リスク管理体制を確立して地域社会に貢献する。

- (1) 従業員とその家族の生命及び身体の安全確保を最優先とし、加えて会社設備の被害の最小化に努める。
- (2) 災害に備えて自主的BCP（事業継続計画）実施のための体制を確立し、納期・工期の遵守に努める。

8 情報セキュリティの確保

個人情報や機密情報の漏洩防止を徹底する。

- (1) 当社との取引を通じて知り得た情報資産（秘密情報・個人情報・知的財産等）については厳密に管理し、その保持に努めるとともに、当社の了解なくSNS等に投稿・転載等しないこと。
- (2) ウィルス対策ソフトやセキュリティ修正プログラムの最新版を常に適用すること。
- (3) 情報資産の不正・不当な利用や漏洩が起らないよう、コンピューターネットワーク上の脅威に対し、最新の防御策も含めて情報流出の防止を徹底し、ファイル交換ソフトを使用しないこと。

9 社会貢献

事業を行う地域の文化・習慣などを尊重し持続可能な社会の発展に努める。

- (1) よりよい社会の実現に向けて、事業活動を行う国・地域の文化・習慣を尊重し、配慮するとともに経済・社会の発展に貢献する活動を積極的に推進していくこと。
- (2) 従業員の自主的社会貢献活動を尊重し支援すること。

以上